

平成17年\_r\_第7990号 薬害イレッサ西日本損害賠償請求事件

原告

被告国 ほか1名

意見陳述書

平成17年5月24日

大阪地方裁判所第12民事部 御中

原告 ○ ○ ○ ○

- 1 私の父は、平成14年4月、突然の吐血で町内の診療所で診察を受け、すぐに大きな病院で検査をするよう言われ、市内の総合病院で検査したところ、肺癌と診断されました。しかし、この時期は農繁期で治療に専念できる状態ではありませんでした。また、父も周りの心配をよそに、農作業を1ヶ月続け、5月に再度精密検査を受けました。今後の治療方法について、担当医師から聞いたら、現時点では抗ガン剤による治療しかないといわれ、点滴による抗ガン剤治療が始まりました。
- 2 父も納得し、抗ガン剤による治療が始まりました。その結果、SCC抗原が70.7から、14.1まで改善し、画像上も腫瘍が縮小したようです。しかし、9月に入ってから発熱が続くので、先生から、薬（抗ガン剤）を変えます。これは新薬で、副作用もなく、体調さえよければ通院が可能ですから、また飲み薬なので、朝1錠の服用でよいといわれ、先生にお任せすることにしました。9月中旬からその薬による治療が始まりました。
- 3 始まってから約1週間後、父の口から、胸が苦しい、なんか苦しいな、という言葉が聞かれました。そんな状態の時、結核菌が見つかったということで、隔離病棟のある国立病院に転院することになり、10月に国立〇〇中央病院で治療することになりました。

同病院ですぐ検査していただいたら、翌日先生からかなり重度の間質性肺炎です、といわれ、はじめてそこで「間質性肺炎」という病名を聞かされたのです。先生からは、覚悟をしてください、あと1週間、長くても1ヶ月くらいしか命がないといわれ、家族全員言葉を疑いました。間違いであることを期待して、私は先生に、「ひょっとしてあの薬が原因ですか？」と尋ねると、「考えられないことはない」との返事でした。しばらくして、姉が新聞の切り抜きを持ってきたので、それを見ると、『イレッサにより副作用死多数』と載っていました。「まさか」と思いました。この薬で、既に多くの方がなくなっている事実を知り、家族の誰かがもっと早くこのことを知っていれば、使わずにすんだのに、そう思いながら、毎日見舞いに行く日々が続きました。

- 4 酸素マスクが手放せない状態が続き、1ヶ月すぎ、少し症状が安定する日があり、母も、父とお正月が迎えられそうやな、と口にする日がありました。しかし、12月10日過ぎから酸素の量が多くなり、夜中に何度か病院から来てくださいと呼び出され、だんだん変わっていく、息苦しさに必死に耐える父の姿が、そこに居ます。

最後は、苦しきのあまり、自分でマスクをはずそうとする父を、私はマスクを押さえながら、家族みんなで頑張りました。しかし、みんなの願いも届かず、12月20日もがき苦しみながら、父は死んで行きました。あの薬さえ使わなければと後悔するばかりです。

- 5 私は、その後、イレッサが世界に先駆けて、また、異例のスピードで承認されたことを知り、驚きました。専門家ではありませんが、普通に、常識的に考えても、世界に先駆けて承認するなら、もっと慎重に取り扱ってもよかったのではないかと。

発売元のアストラゼネカ社は大企業です。利益を得ることを目的とするのは当然でしょう。しかし、今回のイレッサについては、命の尊さが忘れられているのではないのでしょうか？処方仕方がどうして何度も変わるのでしょうか？投与された人の数が、あとで少なくなったのはなぜですか？試験データはすべて間違いないのですか？国への報告は正しかったのですか？と疑うことばかりです。

また、国（厚生労働省）は、抗ガン剤という危険な薬を世界に先駆けて早期に承認する必要があったのでしょうか。承認するにあたって、何人かの専門家が危険性ありといっているにもかかわらず、承認されたようです。海外からも副作用死

の報告があったと聞きます。また副作用死の報告が、なぜあんなに遅かったのでしょうか？もっと早ければ、多くの副作用死はなかったと思います。

- 6 アストラゼネカ社、そして国に、私はこれでいいのでしょうかと言いたい。
- ヨーロッパでは、アストラゼネカ社は承認を取り下げたと聞きます。日本では、まだ今後も使われるようですが、もう止めてください。いつになったら、このような被害者が出ることがない医療が確立されるのでしょうか。
- 被害者はいつも弱者です。短い命だからこそ1日でも長く家族と暮らしたいのです。もう、今回で終わりにしてください。これは、今まで薬害で亡くなった遺族の心からの願いです。私は、アストラゼネカ社、及び国（厚生労働省）に、遺族に謝罪を求めるとともに、再発防止に向けて、机上の空論ではない具体的な方策に向けて、早急に取り組んでいただきたいと思います。

以上